

# 歩いて知ろう わがまち府中!

大会途中で気分が悪くなったり、救護を要する場合の連絡先  
**歩いて知ろうわがまち府中！実行委員会事務局(スポーツタウン推進課内)**  
**TEL:080-1266-9959** ※この電話は大会当日のみ有効です。  
 ◆主催/府中市 ◆主管/歩いて知ろうわがまち府中！実行委員会

## ガイドコース (約5km)

時計まわりコース →  
 反時計まわりコース →



— 高安寺 —  
 室町幕府の将軍足利尊氏が、元々この地にあった市川山見性寺を再興し、龍門山高安護国禅寺と号したのがはじまりとされ、尊氏が改名する前の高氏から名づけられたとされています。尊氏は国と人々の平和を願って全国に安国寺や利生塔を建てました。武蔵国の安国寺が高安寺です。しかし鎌倉時代末期から南北朝の戦乱の時代には、崖の上にあったためこの寺はしばしば合戦の本陣となりました。曹洞宗。現在の本堂は享和3年(1803)、山門は明治5年(1872)、鐘楼は安政3年(1856)の建立で、東京都選定歴史的建造物に指定されています。

— 高倉塚古墳 —  
 古墳時代の後期の古墳で市の指定史跡に指定されています。京王線分倍河原駅西方を中心に広がる27基の高倉古墳群のなかで墳丘が現存している数少ない古墳の一つであり、その中心に位置しています。中世以降には、信仰の対象となって手厚く保護されてきました。今までの発掘調査では、墳丘の構築法が判明し、又墳丘下層からは6世紀前半とされる土師器杯が出土するなど、学術的にも貴重な古墳となっています。

— 新田義貞公之像 —  
 この像は、新田義貞と北条泰家の軍勢が鎌倉幕府の興亡をかけて火花を散らした分倍河原合戦を題材に、武士の情熱と夢をモチーフとして制作したものです。馬上刀をふりかざす勇ましい姿の像は、文化功労者・日本芸術家会員の富永直樹氏、題字は、元府中市市長吉野和男氏揮毫によるものです。

スタート印

ゴール印

スタート・ゴール  
**府中フォーリス前**

— 大國魂神社 —  
 社伝によれば、景行天皇41年(111)5月5日、武蔵国の護り神として大國魂神を祀ったのが始まりとされています。毎年5月の例大祭、くらやみ祭りでは80万人の観光客で賑わいます。

— 国司館と家康御殿史跡広場 —  
 この史跡広場には、飛鳥~奈良時代初め頃から平安時代の終わり頃にかけて武蔵国を治めた行政機関の長、国司の居宅兼執務室「国司館」がありました。そして江戸時代には、徳川家康が鷹狩をする際に宿泊・休息をした府中御殿も置かれた府中市の歴史を象徴する国司跡です。

見どころの説明は NPO 法人府中観光協会 HP より抜粋しています。